

事務連絡
平成27年5月2日

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒のプランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で26細胞/ml確認されました。また、二枚貝を着色させる可能性のあるミリオネクタ ルブラが最大で81細胞/ml確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種は確認されませんでした。

なお、栄喜湾内にて海面の着色が見られ、検鏡した結果ミリオネクタ ルブラが最大で580細胞/ml確認されました。

宿毛湾において、今までミリオネクタ ルブラによって魚類に対して被害は確認されていませんが、十分注意してください。また、この種の死骸が腐敗して貧酸素水塊（溶存酸素の低下）を発生させることもあります。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※（本日は、海水1mlでプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (8:50~9:25) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ギムノディニウム カタナータム	アレキサンド リウム属	ミリオネクタ ルブラ
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*2	*3	
ヒロウラ(別図①) 透明度:-m 採水時間:9:25	0	-	-	-	0	0	0	2
	5	-	-	-	0	0	0	4
	10	-	-	-	16	0	0	0
栄喜湾内(別図②) 透明度:-m 採水時間:9:00	0	-	-	-	0	0	0	81
	5	-	-	-	4	0	0	0
	10	-	-	-	26	0	0	0
猩々湾(別図⑥) 透明度:-m 採水時間:8:50	0	-	-	-	0	0	0	0
	5	-	-	-	4	0	0	3
	10	-	-	-	0	0	0	0

*1：魚類を死滅させる恐れがある種 *2：魚類を弱らせる可能性がある種

*3：麻痺性貝毒の原因種

